

# 青於藍

～藍よりも青く～



2016年11月30日発行 第8号  
発行：福島県立相馬高等学校第1学年

## 私の一番古い記憶

あなたの一番古い記憶は何ですか？——そう聞かれたら、皆さんは何歳頃のどんな記憶を答えますか。私の一番古い記憶は3歳になる少し前の常磐ハワイアンセンター（現スバリゾートハワイアンズ）での記憶です。母の職場のバス旅行に連れていってもらったのです。冬晴れの日で、おそらく忘年会の旅行だったのでしょう。私は黒地に白と赤の縞模様が入ったセーターを着ていました。いつも被っていたカンカン帽をこの日もかぶっていたと思います。乗り物酔いをするほうだったので、この日もきっとバスに酔ったはずですが、そのことはあまり覚えていません。それからまた、ハワイアンセンターの館内でのことも覚えていません。私が覚えているのはハワイアンセンターの玄関前にかつてあった噴水での記憶です。噴水の向こうには窓に沿って横に水色のラインが入った白い高い建物が立っていました。私は買ってもらったウルトラマンの人形を手には持っていました。

ウルトラマンの放送が開始されたのは1966年、ちょうど私が生まれた年でしたが、まだ幼かった私は放送を見ていなかったと思います。だから、当時大ヒットしていたウルトラマンの人形を渡されてもそれがどういうものなのか理解できず、目が大きくてつるんとしたビニール製のウルトラマンは得体の知れない気味の悪い人形にしか思えませんでした。その気味悪さは、もしかしたら一緒に旅行した母の職場の大人たち、見ず知らずの人たちに対する恐怖心と重なっていたのかもしれませんが。けれども同時に、一度自分が手にしたものに対して異常に執着する子どもだった私にとっては、買ってもらった人形は確かに自分の所有物だという思いもありました。

私は噴水の中心に向かってウルトラマンを放り投げました。自分の手の届かないところに行ってしまったウルトラマンを見て悲しくて泣きました。吹き上げる噴水と青空、波打つ水面と周囲の大人たちの話し声。中年の男の人が取ってくれました。私はまたウルトラマンを投げました。何度も投げ、その都度泣いて、また取ってもらいました。

これが私の一番古い記憶です。ウルトラマンの人形をその後どうしたのかは覚えていません。家に持ち帰って遊んだ記憶もないので、もしかしたらあの噴水で無くしてしまったのかもしれませんが。けれどもこのときの記憶は私の一番古い記憶として残りました。

あの時なぜあんなことをしたのだろうと、その後の私は時々考えました。「怖い」と「悲しい」が入り交じった感情があり、その一方で、どこか泣くことを楽しんでいたような気もします。

人が強い記憶として心に刻むことの多くは、心の振り子が大きく振れた体験ではないかと思います。マイナス方向かプラス方向か、どちらかに大きく振れたとき、その体験が記憶として残り、その人の心の一部を作っていくような気がします。「自分ってなんだろう」と考える時があったら、自分の一番古い記憶をたぐり寄せ、あれこれ考えてみるのもよいかもしれません。

(1組担任 升田邦弘)

## 12月・1月の行事予定

- 12月15日(木) 2学期終業式・学習指導懇談会
- 16日(金) 冬季休業～1月9日、冬期課外～20日(全員)
- 21日(水) 英語特別課外～27日(希望者)
- 28日(水) 仕事納め
- 1月4日(水) 仕事始め
- 10日(火) 3学期終業式・服装頭髪検査・課題確認テスト
- 13日(金) センター試験会場設営
- 14日(土) 15日(日) センターテスト
- 21日(土) 進研模試(全員)
- 22日(日) 英語検定
- 28日(土) 全統模試(希望者)



## 英語の成績が危機的状況です(10月の進研模試の結果から)

偏差値50以上の生徒はほんのわずか。50に満たない生徒が大多数です。偏差値50が全国の平均ですから、現1年生のほとんどは全国の大学進学を目指す高校生の平均以下ということです。本校として過去にないくらいひどい状況です。この状況ではほとんどの生徒は希望する大学への合格は不可能です。現1年生を見ていて感じるのは、のんきに構えている生徒が多いということです。大学進学を考えた場合、「のんき」は命取りです。今やる生徒、がむしゃらに勉強に立ち向かう生徒が夢実現への道を登っていきます。ろくに勉強をしていないのに自分はいつか突然成績が伸びるといふ幻想を抱いている生徒が多いのではないのでしょうか。今日勉強をする生徒は明日もやれる生徒です。逆に、今日やらない生徒は明日もやらない生徒です。このままでは多くの生徒が2年後に悔し涙を流すか、せつかくの能力を伸ばせずに妥協するか、そのどちらかです。

### 英語特別課外を実施します(冬季休業中の4日間)

上位層の育成を目指し、12月21日から27日までの4日間、英語の特別課外を実施します。英語の力を伸ばしたい人は申し込んで下さい。本気で英語を勉強したい人、かつ、4日間全てに参加できる人が対象です。詳しいことは後日英語の先生から連絡があります。

## 芋煮会を行いました

2年生が修学旅行中の11月10日(木)、旧女子校のグラウンドを利用して芋煮会を行いました。学校側が準備したのはかまど用のブロックと薪とライターのみ。それ以外はすべて自分たちが準備して行うという行事です。班ごとに事前に話し合い、役割分担を決め、食材も準備していたので、生徒たちは協力して楽しく晩秋の一日を過ごすことができました。唯一生徒たちが苦労していたのは火起こしです。普段火を起こす経験がないので当然ですが、火という、人間が手にした道具の中でもっとも基本的なものを上手に扱えなくなっていることが驚きでした。生徒のメニューを見ると芋煮は少なく、バーベキューや焼きそば、デザートを作る班が多かったことにも時代を感じました。協力して一つのものを作り、出来たものを仲間同士味わう。とても大切な経験だと思います。

## CSLから支援いただいた講演会が終了しました

### 「自分の手は自分でしか動かせない」(大谷氏の言葉から)

CSL(学習評価研究所)の協力をいただいて開催した3回の講演会が終了しました。1回目は7月の宮腰哲雄氏(明治大学名誉教授)、漆に関する講演でした。2回目は9月の大谷徹英氏(薬師寺執事)、生き方に関する講演でした。3回目は10月の本城慎之介氏(元楽天副社長)、時代の変化と働くことに関する講演でした。3回の講演を通して、学問と社会との関わりや、自分自身がどうあるべきか、日々をどう過ごしたらよいのかなど様々なことを考えさせられたようです。

## 冬休み中にやっておくべきこと

生徒の皆さんは学校で配った手帳を使っていますか? 手帳は皆さんが計画的に学習や部活動に取り組めるように配ったものです。最近使っていないという人は入学の頃を思い出し、もう一度使い始めて下さい。自分をコントロールする道具として必ず役立つはずです。以下の計画を手帳に書き込んで計画的に学習・部活動に取り組んで下さい。

- ①冬期課外(全員課外・希望者課外)
- ②宿題の進め方と提出日
- ③2学期の復習の計画
- ④大学入試に向けての問題演習の計画
- ⑤部活動の練習計画
- ⑥家族旅行・家事手伝いの計画



## 年が明けるとセンターテストまで2年です!